

回れ、巡れ、喜び。

Your Partner in Circular Economy

第14期

ENVIPRO REPORT 2023

2022年7月1日 ▶ 2023年6月30日

ミッション

持続可能社会実現の一翼を担う

Contribute to Create a Sustainable Society

企業理念

創業企業

つねに社会にとって必要な
事業を創造しつづける

循環企業

助け合い、活かし合い、分かち合う
喜びの環を回しつづける

求道企業

永遠につづく企業の道、
人の道を追求しつづける



トップメッセージ

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、今世の中が大きく動いています。

それを達成するための大きな手段であるサーキュラーエコノミー（循環経済）は当社が長年培ってきた技術やノウハウを活かせる領域であり、最近頃に当社の役割の重要性を実感しています。

この度当社は戦略コンセプトを「サーキュラーエコノミー（CE）をリードする」とし、それを「モノづくりを支えるCE」と「地域を支えるCE」に分けて対応することにしました。

その上でベースメタルはもちろんのこと、レアメタル、レアアース、プレシャスメタルに加え、ポリマー（プラスチックやゴム類）の高度なリサイクルにも挑戦していきます。そのために必要な回収の仕組みや新たなリサイクル技術の開発にも注力して、ハイレベルなサーキュラーエコノミーの具体的事例を数多く実現していきます。

これらの事業活動は当社が一方で進めている海外戦略と相俟って必ずや当社に大きな成長をもたらすはずで、そしてその成長はそのまま社会への貢献度を高めることになるので、私は一切の迷いなくこの事業の成長に専念していきます。

人生はニコニコ顔の命懸け（平澤興先生の言葉）

前へ my way 前へ

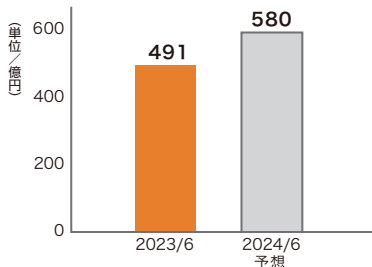
株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表取締役社長

佐野富和

エンビプロ・ホールディングスの現在

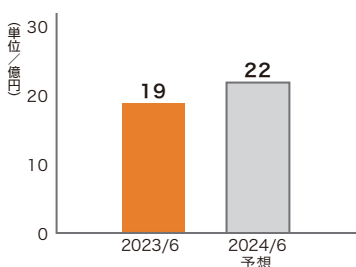
売上高

491 億円 実績 (2023/6)



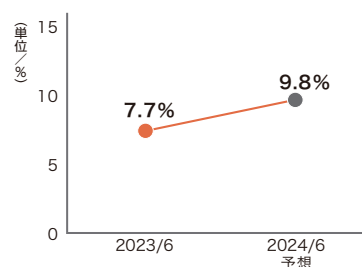
経常利益

19 億円 実績 (2023/6)

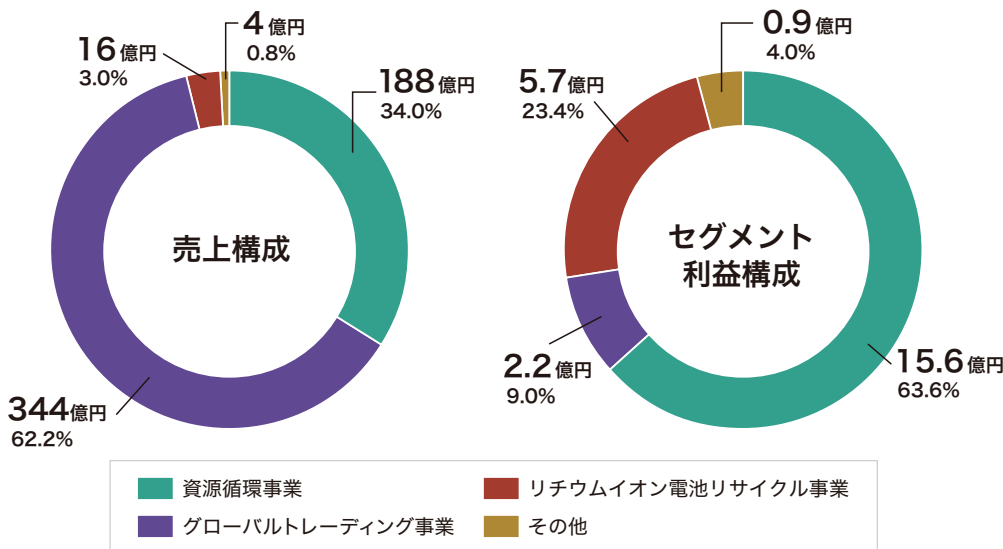


ROE

7.7% 実績 (2023/6)



セグメント別業績 (2023/6)



※調整額を除き算出しております。

連結子会社 (海外含む)



国内ヤード拠点



国内加工拠点



海外拠点



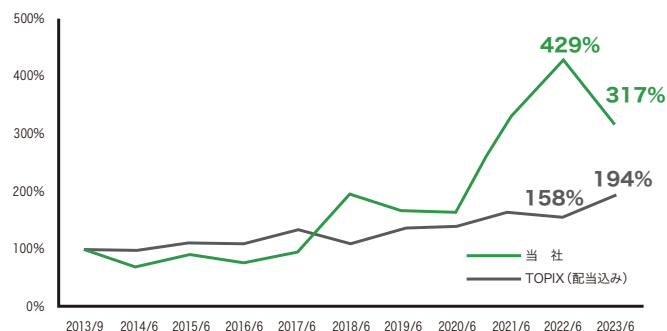
配当政策の基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元姿勢を充実させるため、配当政策の基本方針を変更いたしました。2023年6月期の配当より適用いたします。

- 内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ持続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向25%~35%を目標とする。

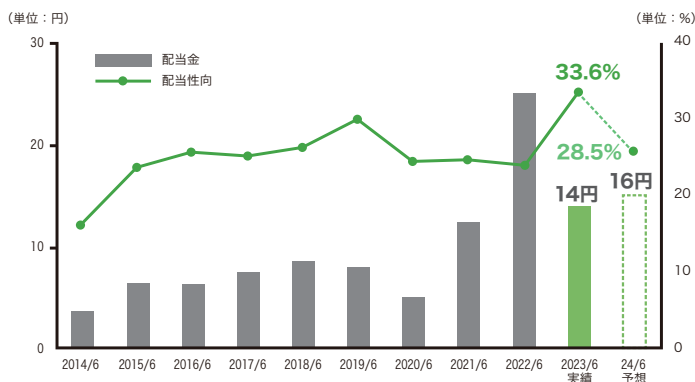
上場以降のTSR (株主総利回り) 推移

2013年上場以降の10年間でみると、TSRはTOPIXのパフォーマンスを上回って推移しております。



※2013年9月25日終値を100とする

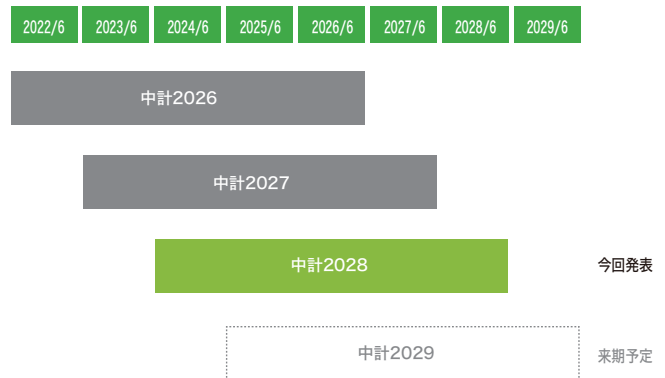
1株あたり配当金・連結配当性向の推移



※2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。2022年4月20日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。1株あたり配当金は2014年6月期以前から上記の株式分割が行われたと仮定して算定しています。

中期経営計画（中計 2028）

	売上高	経常利益	ROE	ROIC
2028/6	800 億円 CAGR(2023→2028) 10%	50 億円 CAGR(2023→2028) 21%	13 %	9 %
2026/6	680 億円	33 億円	11 %	— %
2024/6	580 億円	22 億円	10 %	— %
2023/6	491 億円	19 億円	8 %	6 %



エンビプログループは変革期を迎えており、昨今の急変する市況環境に柔軟に対応するため、昨年度に続きローリング方式にて5か年の中期経営計画を策定いたしました。

「人的資本投資」、「エネルギー価格の高騰」等の対応とその影響を考慮したうえで、経常利益目標の50億円を中計2027から一年先送りし中計2028の目標としました。

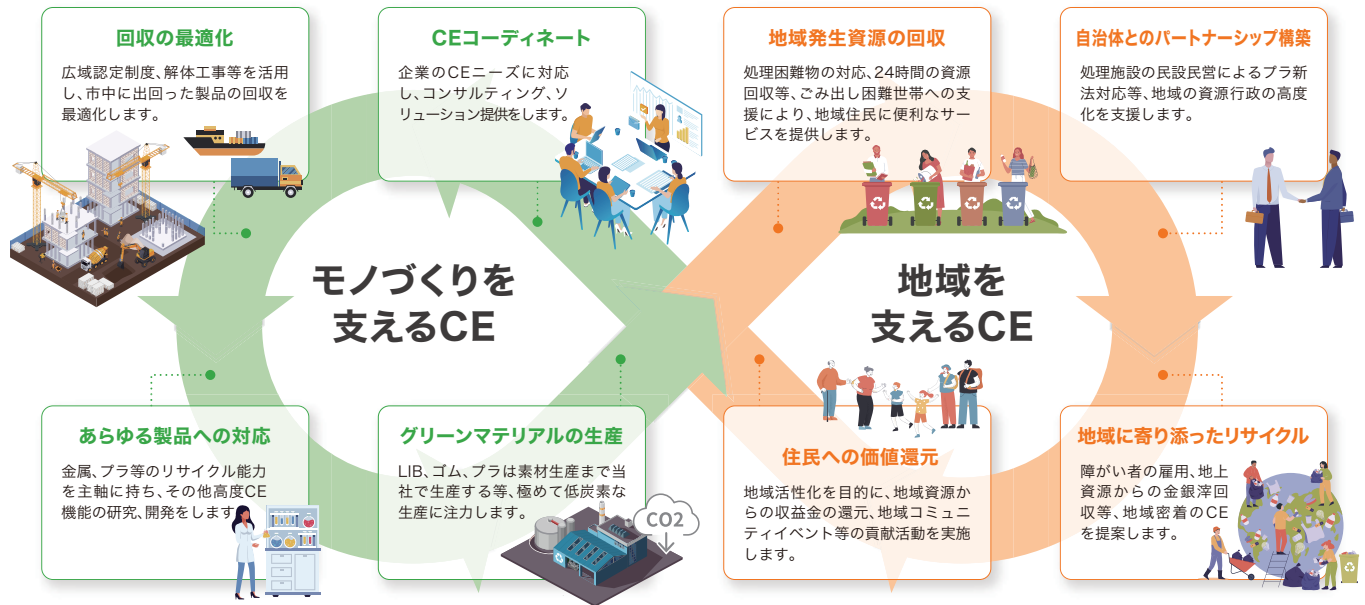
後述の事業戦略に則りサーキュラーエコノミーを推進することにより、上記財務目標の着実な達成を目指します。

事業戦略

当社グループは、戦略コンセプトを「サーキュラーエコノミーをリードする」とし、「モノづくりを支えるCE」と「地域を支えるCE」の具体的事例を他社に先駆けて数多く実現いたします。当社が先導して、日本全体にCEの機運を高め、持続可能社会実現の一翼を担ってまいります。

戦略 CONCEPT

サーキュラーエコノミーをリードする



投資計画

	直近3年の主要な投資実績	戦略人材への投資
200 億円 IRR 15 % ROI 10 %	富士工場（資源リサイクル工場） 14.8 億円	戦略事業部門、事業開発部門の設置
	茨城工場（LIBリサイクル工場） 8.4 億円	海外事業部門の設置
	日東化工のM&A 19.6 億円	エンジニアリング部門の拡充
	既存事業への投資 ▶ 工場の拡張 ▶ 新技術導入、DX推進 ▶ 環境整備、安全対策の強化	成長事業への投資 ▶ リチウムイオン電池リサイクル事業 ▶ プラスチックの高度リサイクル事業 ▶ 人材と知財の確保
		M&A等への投資 ▶ 成長の加速 ▶ シナジー創出 ▶ 成長企業との提携

SDGsの目標達成に向けた様々な取り組み

私たちはサステナビリティ戦略に基づき、脱炭素社会、循環型社会、そして分散型社会を実現する事業を行ってまいります。自社の経営目標を達成するだけでなく、社会の持続可能性を高めるための指標である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成にも同時に取り組んでいます。



取り組みの具体例

目標9 目標12

技術革新・消費と生産

金属スクラップや廃棄物から貴金属などを取り出すリサイクル事業や、再生原料を製造するリマニュファクチャリング事業を推進することで、限られた資源の循環と廃棄物の削減に貢献しています。また、研究室の増設や、リチウムイオン電池リサイクルに関する他社との協同研究等、今後も研究・分析を重ね、これまで培ってきた技術とノウハウをさらに発展させていきます。

Corporate Data 2023年6月30日時点

会社概要

商号 株式会社エンビプロ・ホールディングス
 英文名 ENVIPRO HOLDINGS Inc.
 設立 2010年5月
 資本金 15億2,483万656円
 従業員数 連結632名(単体65名)
 本店所在地 静岡県富士宮市山宮3507番地の19
 本社所在地 静岡県富士宮市中町87番地の1

株式の状況

発行可能株式総数 67,200,000株
 発行済み株式総数 30,102,454株
 (自己株式399,470株含む)
 株主総数 12,972名

大株主

株主名	所持数(株)	持株比率(%)
株式会社ウィンテライト	10,204,000	34.35
佐野文勝	2,679,222	9.02
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,336,700	4.50
株式会社ユー・エス・エス	715,200	2.41
佐野富和	660,068	2.22
石井明子	402,620	1.36
石井裕高	397,540	1.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	289,400	0.97
中田勇	179,800	0.61
日本証券金融株式会社	167,200	0.56

(注)当社は自己株式 399,470 株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員

2023年9月27日現在

代表取締役社長 佐野 富 和
 取締役副社長 佐野 文 勝
 専務取締役 春山 孝 造
 常務取締役 中作 憲 展
 取締役 竹川 直 希
 社外取締役 宮木 啓 治
 社外取締役 野村 浩 子
 社外取締役 今庄 啓 二
 社外取締役(監査等委員) 篠原 清 志
 社外取締役(監査等委員) 神谷 寛
 社外取締役(監査等委員) 白石 智 哉

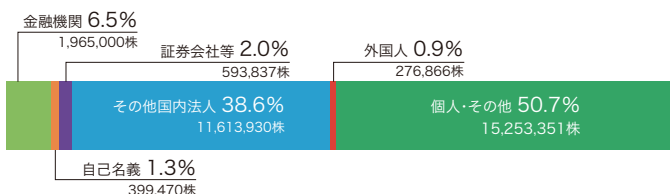
監査法人

会計監査人 東陽監査法人

株主優待制度のご案内

当社は、毎年6月30日を基準日として、当社株主名簿に記載または記録された400株(4単元)以上かつ、1年以上保有されている株主様に当社オリジナルのQUOカード2,000円分を進呈しております。

所有者別株式分布状況



当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。



WEBサイト



Youtube

<https://www.envipro.jp/ir/>

エンビプロ

検索